

新着天気 ジャンル

ニュースを検索

検索

NEWS WEB ニュース

天気 動画 News Up 特集
スペシャルコンテンツ NEWS WEB EASY

新着 社会 気象・災害 科学・文化 政治 ビジネス 国際 スポーツ 暮らし 地域

注目ワード

新型コロナウイルス 新型コロナ 国内感染状況 新型コロナ 生活情報 新型コロナ 経済影響

もっと見る

黒川前検事長 教育 トランプ大統領



ミャンマー東部 覚醒剤や麻薬18トン押収 この地域で過去最大量

2020年5月19日 18時11分

国連薬物犯罪事務所は、世界有数の違法薬物の生産地の一角を占めるミャンマー東部で、地元の警察や軍とともに捜査を続けた結果、18トンに上る覚醒剤や麻薬を押収したと発表し、この地域としてはこれまでで最大の押収量だとしています。

国連薬物犯罪事務所の発表によりますと、捜査はことし2月20日から先月9日まで、ミャンマー東部シャン州の中国との国境に近い山岳地帯で行われました。

その結果、「ヤーバー」という名称で流通している覚醒剤およそ2億錠、ヘロイン290キロ、高揚感を得られることから不正使用のまん延がアメリカなどで問題になっている鎮痛剤の「フェンタニル」3700リットルなど合わせて18トンの薬物と、原料とみられる化学物質など35トン余りを押収しました。

タイやラオスと国境を接するミャンマー東部は、「黄金の三角地帯」と呼ばれる世界有数の違法薬物の生産地の一角で、今回の押収量はこの地域としてはこれまでで最大だとしています。

生産に使う設備も大量に押収し、捜査の中でミャンマー人と外国人合わせて33人の身柄も拘束したということです。

国連薬物犯罪事務所は「この地域の違法薬物の生産と密輸は想像を超える規模で行われていることが確認された」として、さらに取締りを強化する必要があると訴えています。

国際ニュース一覧へ戻る

あなたの天気・防災

気象 データマップ

LIVE 口永良部島 噴火警戒レベル3

鉄道運行情報

ニュースを検索 検索

ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です

1 検疫 Quarantine 卫生检疫 검역

羽田空港 検疫で4人感染確認 ブラジルから到着 新型コロナ

2 日立 在宅勤務を標準へ コロナを機に新たな働き方に転換

3 SNS事業者団体が緊急声明“禁止事項の違反利用停止など徹底”

4 黒川前検事長らを常習賭博などの容疑で刑事告発 市民団体

5 東京都 新たに10人感染確認 4人死亡 新型コロナウイルス

ランキング一覧へ